

外部評価に係る2次評価一覧

調書番号	細事業名 担当課	1次評価		アドバイザーによる評価			2次評価	
		見直し 必要性	説 明	評価者	評価 区分	説 明	見直し 必要性	説 明
11	県民文化 ホール 生涯学習文 化課	有	山梨県の文化発信の中核拠点施設として役割を果たしてきたが、今後も、より一層、文化の発信拠点として、利用者ニーズを把握し、魅力あるイベントの誘致・実施や、県民・市民団体が気軽に参加・発表できる場の提供、活動へのサポートを引き続き行うとともに、若い世代の創作意欲を高める事業を企画し、支援するなど、更なる稼働率の向上と利用者増に取り組む必要がある。	小口	要改善	<p>利用者数は増えているが、県民のニーズや利用層ということから事業のあり方を検討していただきたい。県の負担を減らせないか、収支を改善出来ないかと言う観点から見直しをしていただきたいという意味で要改善と評価した。</p> <p>具体的な改善のポイントは、現在行われている事業の収支については、ある程度見られているが、定員の達成率問題や参加されている年代層の分析がなかなか出来ないということである。もう一度県民のニーズにあっているか幅広い層に利用されているかという点検を、何らかの形で実施して新しい事業展開に結びつけていただきたい。同じような企画に当たっては、他県で成果を上げているものの情報収集等していただき、それを活かしていただきたい。</p> <p>2番目だが、指定管理料は従来からの実績がベースになっているが、他県の例を見ると県に納付されている県もある。収入の方法をどうするかと言うことと同時に、他県より高い運営管理費に目を向けて、他県のやり方、仕組みと比較しながら改善できないか考えていただきたい。</p> <p>収支がかなり複雑になっている。文化事業費は経費率50%くらい、黒字調整のために事業を行うとか、かなりわかりづらいという仕組みとなっている印象がある。このような方法が本当に適切なのか、入場料が無料のものもかなりあるが、入場料の決め方も含めて全体の収支のありかたを見直し、次の指定管理に向けて活かしていただきたい。</p>	有	<p>今後、県民ニーズの調査方法を検討し、適切なニーズの把握に努めるとともに、他県の誘客・集客等の成功事例を調査し、文化発信の中核拠点施設として、魅力あるイベントの誘致・実施や、県民・市民団体が気軽に参加・発表できる場の提供、活動へのサポートを引き続き行い幅広い層の県民の利用につなげていく。</p> <p>更に、HPや新聞等の広報手段を利用して、会議室や練習室の利用促進の周知を図っていく。</p> <p>また、他県の指定管理の収支状況等を調査し、次期指定管理者選定時までに改善の可否について検討していく。</p> <p>更に、施設の老朽化に伴い発生する不具合・故障については、日常的にきめ細やかな点検、修繕等を実施し、トラブルを発生させないよう努めるとともに、更新等が必要な設備については、平成30年度に個別施設計画を策定する中で検討していく。</p>
				五味	要改善	<p>ホールについては大小ともに高い稼働率を上げているが、会議室や練習室の稼働率はかなり低い状況となっている。一般への周知を進めることにより稼働率をあげていただきたい。</p> <p>3階会議室横のトイレが非常に狭いので、改修するときにはある程度のスペースを確保した改修をしていただきたい。</p>		
				諸平	要改善	<p>県民文化ホールは県内唯一の音楽に適した音響効果を持つホールとして、県の文化発信の中核拠点施設としての役割を十分果たしていると思われる。開館から34年経過していることから、至る所で施設の老朽化が見られたので、不具合故障について設備の更新等を適切に対応していただきたい。</p> <p>アンケートの回収が難しく、県民のニーズが把握しにくいと言う状況はわかるが、魅力あるイベントの誘致や実施を引き続き検討して欲しい。</p>		

調書番号	細事業名 担当課	1次評価		アドバイザーによる評価			2次評価	
		見直し 必要性	説 明	評価者	評価 区分	説 明	見直し 必要性	説 明
12	防災安全センター 防災危機管理課	有	<p>県民の防災意識の向上を図るため、各種の防災教育や訓練の実施に努めてきたが、本県においては、南海トラフ地震や富士山火山噴火等の発生が懸念されており、防災教育等の重要性がより増してきている。</p> <p>また、近年発生した東日本大震災や熊本地震のような大規模災害を通じて、日常からの防災・減災対策の取り組みである自助・共助の重要性が再認識された。</p> <p>このため、これらを踏まえ、体験型訓練の実施や、要配慮者(高齢者や障害者、乳幼児等)を考慮した防災教育の拡充など、より一層事業の充実を図る中で、本施設を活用して、県民への防災対策の普及及び啓発を行う。</p>	小口	要改善	<p>地震や富士山噴火と言ったリスクは年々高まっており、全国的に集中豪雨等の災害も非常に増えている。こうしたことを考えると、県民の防災意識の向上、対応能力の向上に対してスピードアップが求められていると言える。そういう意味でセンターの活用をさらに促進していただきたいという観点から、「要改善」という評価とした。</p> <p>具体的な改善のポイントであるが、一つ目は、出張講座はそろそろ能力的に限界に近づいていると聞いているので、今後は一回あたりどうやって参加者を増やしていくか、どれだけ人を集めて体験していただくかということになると感じた。市町村や主催者と連携してPRを強化し、特に地域の高齢者などに来てもらう方法を考えていただきたい。</p> <p>二つ目は、来館者数を増やしてもらいたいということである。センターには様々な設備があり、体験ができるので、ターゲットとして、小中学校の生徒に是非体験していただきたい。小中学校は市町村の管轄ではあるが、県事業の一環として見学ができるよう調整を進めていただきたい。</p> <p>三つ目であるが、洪水や大雨対策は非常に重要になってきているように思うので、今後、施設の整備を含めて検討してもらいたい。</p>	有	<p>様々な広報媒体を活用して、地域住民をはじめとした多くの県民に施設の一層の周知を図るとともに、特に、小中学生を対象にした防災教育の充実を図り、学校等への施設利用の働きかけをより積極的に行う。</p> <p>併せて、展示内容が来館者にわかりやすいものとなるよう工夫し、近年、被害の多い大雨の対策に関しては、避難方法等の展示や説明の充実を図る。</p> <p>これらの対応については、今年度末までに内容を検討し、実施にあたっては、指定管理者とも協議し、計画的に進めていく。</p> <p>指定管理者の執行体制等の見直しについては、より効果的に事業が実施できるよう指定管理者と協議していくが、施設の統合については、統合できる類似施設が他にないことから、現状では困難であるが、今後の県有施設の整備状況により検討していく。</p>
				五味	要改善	<p>来館者の現状について説明を受けたときに、小中学校の利用については学校側の予定で決まるという説明があったが、翌年度のカリキュラムなどを決める際に、あらかじめ学校側に校外学習の候補としてセンターの周知をすることで、ある程度の効果が期待できるのではないかと。</p> <p>また、利用者数の多くを占めている出張講座については、効率が悪く、回数に限界があると感じた。来館していただくことによって防災の知識を普及できるならば、来館してもらう方が大きな効果があるのではないかと。</p> <p>近県施設の利用者数を見たときに、出張講座を実施していない県においても、我が県より大勢の来館者を迎えているので、そのような方法を模索し、参考にしてはどうか。</p> <p>水害についての防災指導がないという質問をしたときに、災害予報の問題を考える必要があるとの回答であったが、避難の方法や場所、時期などを指導するといった内容もあるので、是非水害についての指導を項目として入れていただきたい。</p>		
				諸平	要改善	<p>平成22年度に施設の改修を行ったものの、年間入館者数は東日本大震災のあった平成23年度から減少している一方、平成27年度に起震車を更新して出張講座の利用者は増加していると伺った。</p> <p>また、館内の展示については、新しく情報が更新されたときのために、A4資料をラミネート加工するなど来館者へのきめ細かい情報提供を行おうとする姿勢は理解できた。しかし、実際の展示はそれだけでわかりやすいとは言えず、来館者へ説明が必要であると感じた。</p> <p>また、SNSを用いた情報提供については、フェイスブックを用いて情報のやりとりを行っているとのことだったが、一方で県のホームページにリンクされている防災安全センターのホームページは2013年で更新が止まっていた。</p> <p>指定管理者の組織図を見ても、執行体制や手法の見直しが必要であると感じた。</p> <p>将来的には防災用備蓄倉庫の機能は残し、防災に関する教育・訓練や防災対策の普及・啓発は、他の施設で行うなど、統合を含め検討してもらいたい。</p>		

調書 番号	細事業名 担当課	1次評価		アドバイザーによる評価			2次評価	
		見直し 必要性	説 明	評価者	評価 区分	説 明	見直し 必要性	説 明
13	愛宕山こども の国 子育て支援 課	有	<p>施設の利用者は多く、満足度も高いが、遊具等の設備は経年劣化により改修が必要なものがあり、施設の中では斜面地の土が削れているなど改修を要する部分がある。</p> <p>乳幼児を連れた家族の利用が増えていることから、ベビーカーでの園内の移動についての配慮や専用の授乳所などの必要性が高まる一方で、キャンプ場は利用時期が限定され稼働率は4.7%と低調であり、利用者ニーズの変化への対応が求められている。</p> <p>これらの課題への対応を踏まえながら、今後の施設のあり方について検討する必要がある。</p>	小口	要改善	<p>全体としての利用者数は減少傾向がみられるが20万人近い利用者がある。</p> <p>しかし、施設ごとに利用状況に相当差があり、安全面での配慮も必ずしも十分ではないと思う。</p> <p>今後は、改修も含めて運営についても優先順位をつけて取り組んでいただきたいという観点から要改善とした。</p> <p>改善のポイントは、</p> <p>まず1点目は、キャンプ場の稼働率が非常に低い。本来対象とする県内の小中学校の生徒も非常に少なくなっている。</p> <p>現状トイレは仮設トイレであり、改修に相当の金額を要するということもあり、キャンプ場については廃止が適当であると考ええる。</p> <p>2点目は、全体が斜面を利用した施設であり、それがこの施設の魅力にもなっているが、斜面ということで土留め等の安全面で十分配慮できているとはいえないと感じる。安全面を優先しての改修に取り組んでいただきたい。</p> <p>3点目は、遊具もかなり老朽化が見られるが、安全面と利用状況から優先順位をつけて順次計画的な改修を行っていただきたい。</p>	有	<p>年間約20万人が利用する県民に親しまれている施設であるが、老朽化により遊具の改修、斜面地の土の流出防止など安全面での対策や、小さな子ども連れ家族の利用者など新たなニーズへの配慮が必要となっている。</p> <p>また、キャンプ場については、利用が低調であるが、トイレなどの改修に多額の経費が必要となる。</p> <p>このため、改修や施設の一部廃止も含め、今年度末までに施設のあり方について検討していく。</p>
				五味	要改善	<p>大変広い敷地内の管理は大変なことだと思うが、遊具の老朽化が目立っており、日々の補修も欠かせない状況ではないかと思う。</p> <p>県としても整備計画を立てる必要があるが、指定管理者としても少額補修について計画的に進めていただく必要があるのではないかと。</p> <p>次にキャンプ場については、利用率が非常に低く季節的にも利用が限られている。</p> <p>トイレ、炊事場をこのままで使用し続けるのは難しいと考えている。</p> <p>キャンプ場の利用を停止してはいかがか。</p>		
				諸平	要改善	<p>愛宕山こどもの国については、愛宕山の斜面を活かして年20万人前後の方が利用されているとのこと。</p> <p>また、最近では乳幼児を連れた利用があり、オムツ替えの施設や授乳の施設の整備が求められているということだった。</p> <p>また、老朽化した遊具の改修、斜面地の土の流出なども修繕が必要とのこともうかがった。</p> <p>危険のないように運営していただきたいと思う。</p> <p>そして、キャンプ場については、トップシーズンでも利用状況があまりないということで、見学したときもトイレ施設の不具合で仮設トイレで対応されているような状況であった。</p> <p>修繕にも多大な費用が見込まれるとのことであり、キャンプ場については廃止にした方がよいのではないかとと思う。</p>		

調書番号	細事業名 担当課	1次評価		アドバイザーによる評価			2次評価	
		見直し 必要性	説 明	評価者	評価 区分	説 明	見直し 必要性	説 明
14	愛宕山少年 自然の家 子育て支援 課	有	<p>指定管理者である、(公財)山梨県青少年協会により適切な運営が行われており、少年の健全育成に寄与しているが、昭和48年の開設以来43年が経過し、施設(鉄骨鉄筋コンクリート造)の耐用年数の50年(平成35年)まであと7年となっており、雨漏り、外壁の剥落、配管の劣化など老朽化が著しい。</p> <p>また、少年以外の利用が多いことから本来の設置目的と異なる利用状況となっている。</p> <p>こうした状況から、老朽化や県立の同類3施設の利用状況、利用者需要の動向を踏まえ、今後の施設のあり方を検討する必要がある。</p>	小口	廃止	<p>施設全体の利用者が減少傾向にあるということ、施設が本来の対象とする県内の青少年の利用割合40%と低い状況という説明があった。</p> <p>それに対し、施設は築43年と相当老朽化しており、外壁の剥落、原因不明な雨漏りがあるということと安全面からも青少年の施設としては適切ではないと考える。</p> <p>修繕には新築と同様な金額がかかるかと推測されていると聞くと、この施設は廃止することが適当でないかと考える。</p> <p>この施設の利用者は県内類似の2施設で調整することが可能という感じを印象として持っているし、本来対象とする少年を中心として受け入れれば解決ができるのではないかと思うので、ぜひ調整を行って欲しいと思う。</p> <p>また、この建物をどうするかと言うことが大きな問題になるが、愛宕山全体としてキャンプ場も含めての活用と言うことを検討されたい。</p> <p>これは一つの考え方だが、あれだけの建物なので、利用目的は別として民間へ建物を譲渡することも考えられる選択肢ではないかと思う。</p>	有	<p>少子化の影響により、少年の利用が減少していく中で、当初の設置目的に沿わない利用実態となっている。</p> <p>また、開設以来43年が経過するなかで施設の老朽化が進み、大規模改修には多額の経費がかかることから、今年度未だに廃止を含めた施設のあり方を検討していく。</p>
				五味	要改善	<p>利用者の構成割合をみると青少年以外の利用者が40%を占めており、これは本来の設置目的から外れている。</p> <p>平成23年度のアドバイザー評価においても、この問題が取り上げられているが、その後も改善されなかった。これは皆様の努力がなかったということではなく、努力はされたのだろうか、本来の利用対象者を増やすことができない状況にあったのだと思った。</p> <p>施設の老朽化も非常に進んでおり、設置場所を考えると改修には莫大な資金が必要になるのではないかと、この際、廃止も考慮して今後の運営を検討していただきたいと思う。</p>		
				諸平	要改善	<p>愛宕山少年自然の家は、外からは分からなかったが、中に入ると老朽化が著しく、構造が複雑な建物のため、雨漏りの原因が雨だけでなく、地下水由来のものもあるとのことであり、原因が特定できないという話があった。</p> <p>また、立地条件から修繕の見通しもたっていないという話もあった。</p> <p>利用者においても、本来の利用対象者である小中学生の利用は少なく、県外の方の利用はあったが、県内の小中学生は県内の他の類似施設を利用するなど考慮することができるということも考え、廃止に向けて検討をして欲しいと思う。</p>		

調書番号	細事業名 担当課	1次評価		アドバイザーによる評価			2次評価	
		見直し 必要性	説明	評価者	評価 区分	説明	見直し 必要性	説明
15	産業展示交流館アイメッセ山梨 産業政策課	有	当該施設は、甲府地域テクノポリス開発計画に基づき、県内初めての産業展示機能のほか、中小企業人材開発センターや産業技術センターと併せて交流機能を備えることで、県内経済の発展を図ることを目的に整備された。また、中小企業の振興を支援する機関も入居しており、県内中小企業・小規模企業の経営基盤強化、経営革新、創業促進などの総合的な支援拠点としての役割を果たしており、県内産業の振興を図る上でその重要性はさらに増している。 こうした中、展示場は、H23年度以降、指定管理者の営業努力により、利用件数は増加傾向にあるが、平成39年度のリニア中央新幹線の開業に伴い、隣接地に新駅が建設され、交通の利便性が大きく向上することから、県内外の企業等に、県内唯一の産業展示施設としての魅力のPRに努め、利用率の更なる向上を図る必要がある。	小口	要改善	<p>指定管理者の努力もあり、稼働率が向上しており、結果として県への納付金も増えているという点は高く評価できる。</p> <p>今後は、立地や収容力、営業力を活かして、さらに地域貢献度を高めるという点とリニア開通をにらんで県内施設の中での位置付けを強化するという意味から、「要改善」と評価した。</p> <p>具体的な改善ポイントは、次の3つ。</p> <p>一つ目は、長年イベントの誘致や運営を続けてきて、相当ノウハウも蓄積されてきていると思うので、特に県内企業を相手にイベントを行うことの経営上のメリットを積極的に伝えて、地元企業の利用促進を図っていただきたい。</p> <p>二つ目は、食事や宿泊のワンストップサービスが、利用者の便宜向上に相当役立っているようだが、だいぶ金額も増えてきて、県の観光産業への影響も少し与えるレベルに成長しているのではないかと思う。そこで、観光推進機構、県観光部との連携を強化し、ここに関連する事業者の間でぜひおもてなしを向上させるといことで、県外の施設利用者への山梨県のイメージアップにも努めていただきたい。</p> <p>三つ目は、再三話があるとおり、リニア開通によってアクセスが一段と向上すると思われ、県内の中核施設としての機能はさらに強まるものと思われる。リニア開通をにらみながら、県内で色んな施設があり、色んな集客をしているが、総合的な魅力からアイメッセ山梨を重点的に利用するという全体の見直し、施設全体の状況を踏まえての見直しにも取り組んでいただきたい。</p>	有	<p>利用促進を図るため、県関係各課や市町村等に積極的に働きかける。また、リニア中央新幹線の開業の利点を最大限に活かせるよう、リニア駅周辺整備の検討状況を踏まえつつ、集客施設としての魅力向上や集客増の方策等を検討する。</p> <p>施設修繕では、平成30年度に、公共施設総合管理計画に基づく個別施設計画を策定する予定であることから、この中で修繕計画を作成するとともに、必要な修繕は行い、施設の適正な維持管理に努める。</p> <p>施設の利用向上方策としては、産業展示によるメリットや効果を、県内企業向けに分かりやすく伝えられるようHPの充実を図るとともに、提案型の営業の強化、訪問回数を増やすことなどにより、県内企業の利用促進を図る。</p> <p>また、PVやCM撮影の制作会社への営業を引き続き行うとともに、平日の利用が見込める官公庁・各種団体等に対し、経費の削減や集客増が図れる複数イベントの同時開催を提案するなど営業を強化する。</p> <p>このほか、やまなし観光推進機構等と一層緊密に連携し、県外施設利用者向けに県内の飲食・宿泊、観光情報を提供するほか、アフターコンベンション(イベント後の県内観光等)を促進し、施設利用者の利用満足度を高めていく。</p> <p>なお、施設の近隣には、まとまった駐車場がなく、比較対象施設がないことから、公租公課(甲府市の固定資産の課税標準額等)に基づき、賃借料の算出・見直しを行っている。H30年3月に契約満了を迎えることから、契約書にも記載されているとおり、公租公課の変動による契約額の変更を行う。</p>
				五味	要改善	<p>第2、第3駐車場の賃借料について、県が負担している。質問したところ、3年ごとの更新時に甲府市に土地価格等の問い合わせを行っていることだった。しかしながら、この賃借料の妥当性を説明できる資料はなかった。貸し主という相手のあることではあるが、客観的な説明のできる資料は必要だと思う。</p> <p>次に、施設の老朽化が進んでいるということについて、県内に代替施設がないことでもあり、大変機能の高い施設だと思うので、計画的な修繕計画を作成し、利用者を引き留められる施設にしてほしい。</p>		
				諸平	要改善	<p>アイメッセ山梨は平成18年度から指定管理制度を導入した後、現在、平成26年度から平成30年度は、やまなし産業支援機構が指定管理を行っていて、施設の利用件数も順調に増加傾向にあることだった。</p> <p>2020年のオリンピック・パラリンピックに向けて、必要な修繕を行い、利用者の満足度をより高めることで、2027年のリニア中央新幹線の開業時には、東京から近い産業展示施設として、ますます山梨の魅力発信し、県内産業の振興と文化の向上に寄与していただきたい。</p> <p>PVやCM撮影利用等、県観光部との連携も上手くいっているようなので、他の部課との連携も引き続き行い、平日の利用率アップとなるよう、情報収集に努め、新たな需要を発掘していただきたい。</p>		

調書 番号	細事業名 担当課	1次評価		アドバイザーによる評価			2次評価	
		見直し 必要性	説 明	評価者	評価 区分	説 明	見直し 必要性	説 明
16	飯田野球場 スポーツ健康 課	有	施設全体としての稼働率は91.3%と高いもの、更なる利用の増加に向けて、比較的利用の少ない冬場に、利用頻度の高い団体などへの利用促進のPR活動に努めていく。	小口	要改善	<p>野球の利用に加えて、グラウンドゴルフ等に利用を拡大し、稼働率の向上への努力が図られていることは評価できる。</p> <p>ただ、他の野球場との比較や利用目的の多様化を考えると、料金面については検討する余地があるので、「要改善」とした。</p> <p>具体的には、市町村の野球場に比べて、かなり安い料金が設定されている。立地や機能面を踏まえると、値段を上げる余地が十分あるので、この点について検討をお願いしたい。</p> <p>また、利用目的が多様化し、グラウンドゴルフや撮影での利用となると、一律同じ料金でも良いのか、と考えられるので、利用に合わせた料金体系にできないか検討していただきたい。</p> <p>将来的な話だが、野球人口が徐々に減少することを考えると、今後、グラウンドゴルフの利用割合が増えてくると思われる。利用者の状況を見ると、甲府近隣の居住者の利用が進んでいくこととなるので、将来的には、甲府市への移管の可能性についても検討していただきたい。</p>	有	<p>利用料金については、公共施設としての性格から、利益を上げることが目的としての料金設定はできないと考えており、施設の運営に係る維持管理費、人件費について、受益者に負担していただくこととして、その経費の全てを反映しているため、利用の用途に関わらず一律の料金を徴取している。</p> <p>なお、現状の利用料金は、市町村有の軟式野球場の平均額(一般の市町村民による利用)4,193円と同程度となっている。</p> <p>将来的な甲府市への移管については、今後の状況を踏まえ、移管の可能性について検討していく。</p> <p>計画的な修繕については、平成30年度末までに策定する公共施設の個別施設計画の策定の中で長寿命化すべき施設の選定、計画的な修繕等について検討していく。</p> <p>冬季の利用促進については、利用頻度の高い団体などに、利用促進のPR活動を実施していく。</p>
				五味	要改善	<p>大変良く手入れされ、整備されているという印象を持った。</p> <p>修繕計画はないとの説明があったが、大変多くの競技会が開催されており、今後も必要な施設であるということなので、壊れてから直すよりも、計画的に修繕を進めていく方が、施設が維持されていくのではないかと思う。</p>		
				諸平	要改善	<p>現地調査時に見たところ、施設は老朽化が進んでいるものの、指定管理者により施設全体が適切に維持管理されていると感じた。野球やグラウンドゴルフの利用によって、年間の稼働率が91.3%と高く、愛されている施設だと思った。</p> <p>計画的な修繕を行って、冬季の利用促進に努めていただきたい。</p>		

調書 番号	細事業名 担当課	1次評価		アドバイザーによる評価			2次評価	
		見直し 必要性	説 明	評価者	評価 区分	説 明	見直し 必要性	説 明
17	文学館 学術文化財 課	有	<p>指定管理者との協働により、効果的な広報活動が行われ、展覧会の集客に一定の成果が得られた。</p> <p>しかし、常設展の観覧者が減少したことなどから、観覧者の割合としては少ない傾向にある若年層に対して、これまで以上に働きかけ、文学に接する機会を与えることによって、文学館の利用を増進させる必要がある。</p> <p>そのため、学校との連携を強化するとともに、アンケートや文学館協議会などの意見を反映し、ニーズに沿った事業を充実させる必要がある。</p> <p>また、来館のきっかけについて、これまでポスター・チラシを見て足を運んでくださる方が多かったが、28年度のアンケートではポスター・チラシによる来館者とほぼ同じ人数がインターネットの閲覧を契機としていることから、情報提供のツールとしてツイッター等を含めたSNSの活用や観光部との連携を積極的に行う必要がある。</p> <p>また、貸し館についても、積極的に広報を行い有効活用を図っていく必要がある。</p>	小口	要改善	<p>施設は非常に立派で収蔵品も非常に充実していると感じるが、残念ながら、利用者数は多いとは言えない。折角のこれだけの施設なので、より多くの人に利用してもらい、文化向上に繋げるために一段の工夫・努力をしていただきたい。</p> <p>小中学校の中での授業などに取り入れることはできないか。これは、県と市町村の間で、是非、積極的に調整をしていただきたい。</p> <p>観るだけでは非常に魅力も少ないので、観ること、他のことを組み合わせることによって、魅力づくりができないだろうかということを、考えていただきたい。</p> <p>例えば、読み聞かせをすとか、非常に立派な講堂があるので、関連する映画の上映や演劇とか、色々なイベントと組み合わせることで、魅力をアップさせて来場者増加に繋げるというような努力を是非していただきたい。</p> <p>美術館という集客力の高い施設と文学館との連携は、データで見ると、まだ、十分にできていない。指定管理も同一ということなので、共同のPR、共同企画も含めて、是非、相乗効果があげられるよう工夫をしていただきたい。</p> <p>貸し館の来場者数を除いた来場者数から見ると、指定管理の人数、それから県職員の合計の人数が、他県の施設よりも少し多いのではないかという印象をもった。詳しい分析をしてみないと分からないので、他県との人員配置の比較をしていただいて、適正人員についての見直しについても併せて行っていただきたい。</p>	有	<p>隣接する美術館を含めた他施設との連携事業を積極的に実施するとともに、展示とそれ以外の手段との組合せなど、より魅力的で集客力のある事業を企画していく。</p> <p>また、小中学校の利用促進を図るため、校長会や教頭会などの機会をできる限り捉え、教育普及事業のメニューをわかりやすく提示するなど、きめ細かく利用を働きかけていく。</p> <p>更に、利用率の低い研究室については施設の特徴や用途を具体的に示しながら、広く周知を図り利用を促すなど、より一層の利用者増に向けた様々な取組を行っている。</p> <p>なお、他県との人員配置の比較については、本庁も含めた業務分析の検討を進めるとともに、限られた人員を有効活用し、文学館活動の充実を図っていく。</p>
				五味	要改善	<p>大変設備の整った施設であるが、利用率が低いことが残念である。</p> <p>小中学校などの校外授業での活用への働きかけを進めて頂いたり、研究室の夜間の利用率が大変低いので、一般への周知を進めていただきたい。</p> <p>県立図書館や美術館、博物館、科学館などと連携し、共通イベントなど、県内の文化施設を巻き込むような企画を立てていただきたい。</p>		
				諸平	要改善	<p>文学館については、美術館のように作品をその場で鑑賞する施設ではなくて、山梨ゆかりの文学者に興味関心を持つきっかけとなるような施設であるとの説明を受けた。現地説明でも、県民のニーズが多様化する中で、文学館協議会の意見を把握して、アニメとのコラボなど、若年層にも来館するきっかけを作る努力がうかがえた。</p> <p>研究室は、無料化することはできないかもしれないが、そういうことも含め思い切った取り組みで、まず、足を運んでもらうということを検討してみたいか。</p> <p>今後も魅力ある教育普及事業や展示を行っていただいて、SNSを用いて情報発信するという話もあったので、来館者増になるよう、是非、良い施設なので検討していただきたい。</p>		